

日整連、令和2年度版「自動車整備白書」を発行

堅調な貨物車需要に支えられ、1年車検などが好調

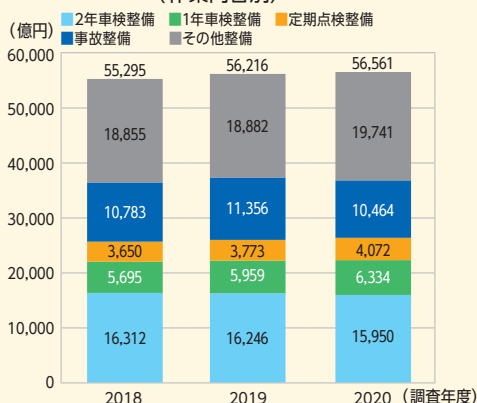
日本自動車整備振興会連合会はこのほど、「自動車整備白書」の令和2年度版を発行しました。同書は2020年6月末時点における自動車特定整備事業者を対象として実施した「自動車特定整備事業実態調査」の結果を報告するとともに、市場動向などを加味した分析結果を提示することを目的としたものです。同調査結果は2020年6月末に最も近い決算期の状況をまとめており、売上高などについては2019年度の実績となります。

同書によると、総整備売上高(グラフ1)は対前年度比345億円(0.6%)増の5兆6,561億円となり4年連続で増加したものの、事故整備売上高については同7.9%減の1兆464億円と厳しい結果となりました。1事業場当たりの平均入庫台数及び平均単価の推移を作業内容別(グラフ2~6)に見ると、2年車検と事故整備は前年度より平均単価が上昇したものの、入庫台数が減少し、売上高は減少しました。

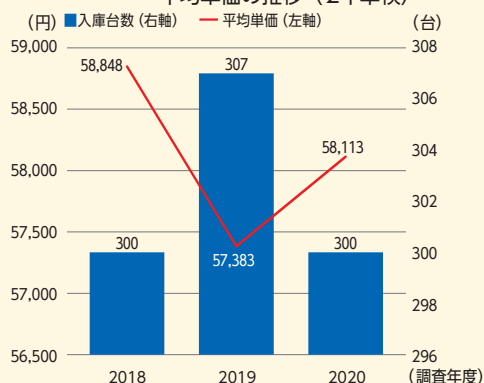
一方、1年車検、定期点検、その他整備

は、前年度並みの平均入庫台数を維持しつつ、平均単価が上昇したため、売上高も増加しています。1年車検及び3ヵ月点検の対象となる貨物車の新車販売が堅調なこと、その他整備についてはアイドリングストップ用やEN規格バッテリーなど高単価商品の販売が増加したことなどが、入庫台数の維持及び平均単価の上昇につながったと考えられます。

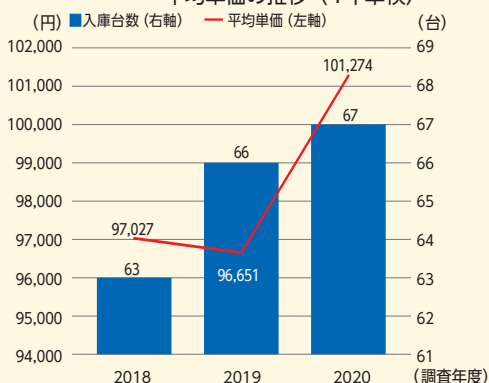
グラフ1 総整備売上高の推移
(作業内容別)



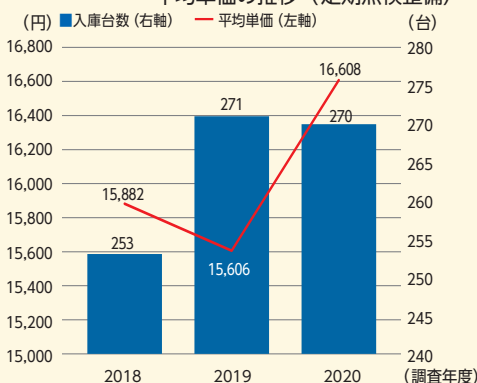
グラフ2 1事業場当たりの
年間平均入庫台数及び
平均単価の推移(2年車検)



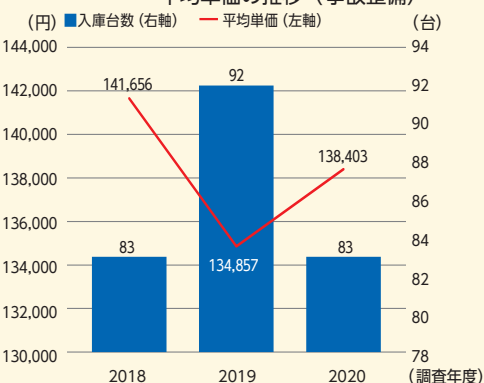
グラフ3 1事業場当たりの
年間平均入庫台数及び
平均単価の推移(1年車検)



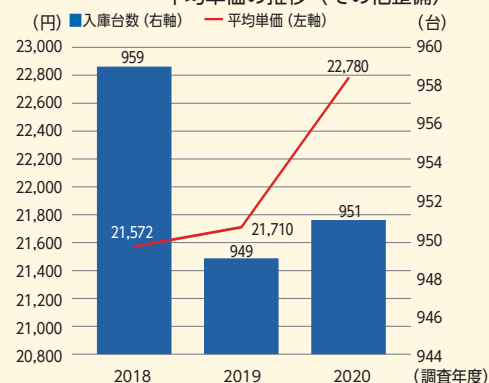
グラフ4 1事業場当たりの
年間平均入庫台数及び
平均単価の推移(定期点検整備)



グラフ5 1事業場当たりの
年間平均入庫台数及び
平均単価の推移(事故整備)



グラフ6 1事業場当たりの
年間平均入庫台数及び
平均単価の推移(その他整備)



整備事業者に求められる対応とは

自動運転車の技術動向

本田技研工業は今年3月、自動運行装置を搭載したレベル3の自動運転車として初めて型式指定を受けた「レジェンド」を発売しました。

自動運行装置に該当するのは、同車の先進安全システム・Honda SENSING Eliteに搭載された機能の一つである「トラフィックジャムパイロット（渋滞運転機能）」です。同機能は、一定の条件下でドライバーに代わってシステムが周辺を監視し、アクセル、ブレーキ、ステアリングを操作するものです。なお、同システム搭載車はリース専用かつ100台限定生産であるため、一般の整備工場に入庫することはほとんどないと思われます。

レジェンドが搭載する「自動運行装置」に対する保安基準は、2019年5月に公布された道路運送車両法の一部改正によって定められました（その後2020年12月15日公布の告示にて一部改正）。この保安基準が定められたことで、レベル3の自動運転車が満たすべき基準が明確となりました。本年3月には、遠隔監視・操作型としてレベル3の自動運行装置を備えた車両も、国土交通省からの認可を取得しています。

政府のIT戦略本部が今後の高度道路交通システム（ITS）の方向性についてまとめた「官民ITS構想・ロードマップ2020」では、2025年までに高速道路を走行可能なレベル4自動運転車の市場化を目指すロードマップが示されています。これら計画の実現に向けて、さらなる研究開発の促進や各種制度の整備を進める方針です。

整備業界の対応

自動車技術の進化を受けて整備業界においても対応が求められており、「特定整備認証制度」、「新点検基準」、「OBD検査制度」などの関連法規制が構築されました。

2020年4月からスタートした特定整備認証制度は、整備事業認証の取得が必要となる対象装置に「運行補助装置」と「自動運行装置」を加えるなど、従来の認証整備制度の範囲を拡大したものです。なお、追加した両装置に対する整備は「電子制御装置整備」、従来の分解整備の対象装置に対する整備は「分解整備」として区別されて

います。同制度は施行から4年間の経過措置が講じられており、国土交通省の調べによると、3月末時点の電子制御装置整備認証取得事業場数（速報値）は、約8,000事業場となっています。

特定整備制度施行に併せて、カーメーカーに対しては、特定整備事業者に向けた整備情報の提供が義務付けられました。しかし、自動運行装置に関する情報については「情報の提供を受ける者を、当該情報に基づく点検及び整備を適確に実施するに足りる能力及び体制を有することが確認された者に限ること」が可能とされています。そのため、電子制御装置整備認証においては、運行補助装置のみに対する認証、つまり「自動運行装置を除く」事業場として認証を取得することができます。なお、さきほど紹介した3月末時点で電子制御装置整備認証取得済みの約8,000事業場のうち、自動運行装置まで対応可能な事業場は24事業場のみです。自動運行装置に対する整備作業は、当面の間カーメーカー等主導のもと運用されると見られます。

電子制御装置への対応を目的として、点検基準も見直され、本年10月1日からは新たな点検基準の運用が開始されます。新点検基準では、定期点検の点検項目に「車載式故障診断装置の診断の結果」が追加されました。これにより、電子制御装置整備を含む対象装置に対し、スキャンツールもしくは警告灯の点灯による点検を行い、異常があった場合には整備及び点検整備記録簿への記載が必要となります。さらに2024年からは、「運行支援装置」（衝突被害軽減ブレーキやレーンキープ機能など）、「自動運行装置」、「排ガス関係装置」を対

象として、保安基準不適合を示す故障コード「特定DTC」の有無を車検時に確認する、OBD検査制度が開始される予定です（2021年10月以降の新型車を対象に、2024年10月から開始予定。輸入車については、2022年10月以降の新型車を対象に、2025年10月から開始予定）。

今後、整備業はどう変わるのか

OBD検査制度は本年10月以降の新型車を対象とするため、特定DTCの具体的な内容はまだ示されていません。一方、衝突被害軽減ブレーキやレーンキープ機能などはすでに多くの車両に搭載されており、それら機能に関する警告灯は、本年10月からスタートする新点検基準の対象となります。

たとえばレーンキープ機能に関する警告灯は、センサーが適切な位置に設置・装着されていないことが原因で点灯する場合があります。これは、過積載やサスペンションの改造などのほか、事故などによる車体のゆがみによって発生するケースもあります。つまり、新点検基準及びOBD検査制度の開始後、定期点検・車検で入庫した車両が車体のゆがみを原因として対象警告灯の点灯や特定DTCの排出に至っていた場合、不具合原因を根本から取り除くためには、ボデーアライメントの修正が必要とされる可能性はないと言い切れないことになります。

進化を続ける自動車技術の整備・修理に対応し続けるためには、これまで以上に広い視野及び知識が求められることになりそうです。



自動運行装置を搭載したレベル3の自動運転車として初めて型式指定を受けたホンダ・レジェンド

オートモビルカウンスル2021開催

往年の名車が 幕張メッセで一堂に会する

「クラシックミーツモダン」をテーマに、往年の名車と最新モデルを展示する「オートモビルカウンスル2021」が4月9～11日の3日間、幕張メッセ(千葉県千葉市)で開催されました。

今回で6回目の開催となります。コロナ

禍により数多くのイベントが中止・延期を余儀なくされる中、「我が国に成熟した自動車文化を」の旗を掲げ続けるという思いから開催に踏み切りました。密集を避けるための入場制限や関係者及び来場者の体温測定、来場者情報の登録、マスク着用など、

徹底した感染拡大防止策が施されました。カーメーカー、ヘリテージカー販売店など58社・団体が出展し、合計60台以上の車を展示しました。

今回は2022年4月15～17日、同所で開催を予定しています。



特別展示 「マツダ、ルマン優勝までの軌跡」



長い挑戦の果てに日本車初のルマン24時間レース制覇を成し遂げたマツダ。今年、総合優勝から30年の節目を迎え、その功績を講えウィニングマシーンなど3台を展示。ロータリーエンジンがルマンに出場できる最後の年だった1991年に優勝した787B(写真①)、1983年にRX-7ベースのシルエット・フォーミュラでC2クラスを戦った737C(写真②)、1982年にマツダ車としてルマン初完走を達成したRX-7 254(写真③)の3台を展示。

主催者テーマ展示 「時代を進めたラリーカーの戦闘美」



サーキットではなく、千変万化するコンディションの中走り続けるラリーは、スピードだけでなく総合力が試され、自動車の真価問われる。そんな緊張感溢れる美しさを持ったラリーカーを10台展示。ランチア・フルヴィア・クーペ(写真④)はチェックポイント設営よりも30分早く到着し、早着失格になったという逸話を持つ。ランチア・ストラトス HF Gr.4(写真⑤)は、1981年のスペイン・ラリー選手権、1982年のスペイン・ツーリングカー選手権でシリーズチャンピオンとなった車両。また、1972年のサファリラリーで3位に入賞し、ニッサンの、日本車の高性能イメージを世界にとどろかせた1972 ダットサン240Z(写真⑥)を含めたダットサンも3台展示された。

NGP 今月のCO₂削減量



リユース部品利用に伴うCO₂削減量

令和3年3月:

2,440t



リターナブル梱包材利用に伴うCO₂削減量

令和3年3月:

1.1t

※自動車リサイクル部品産学共同研究会が、「自動車リサイクル部品による環境負荷低減効果の研究」の結果をもとに、NGPが販売したリユース部品の90品目(左右ある部品をきむと115品目)を対象に算出した数値です。

※リターナブル梱包材の利用に伴う削減効果はNGP協同組合独自のCO₂排出量削減の取り組みです。段ボールに代えて、専用梱包材を繰り返し使用することを前提に削減効果を算出しております。

アンケート ご協力をお願い

今後より良い情報をお届けするために、皆さまのご意見をお聞かせください。

5月31日
まで!抽選で **50** 名様に、**3,000** 円分の
クオカードをプレゼント!!

ご回答方法

本紙にご回答を記入しFAXにてお送りいただくか、
QRコードからアンケート用特設サイトにアクセスし、
ご回答ください。

FAX番号: 03-5475-1209

Web回答はこちら



① NGPニュースは読んでいますか?

・毎月読んでいる ・時々読んでいる ・あまり読まない ・読んだことがない

② ①で「毎月読んでいる」「時々読んでいる」と答えた方にお聞きします。NGPニュースの満足度をお聞かせください。

・大変満足 ・満足 ・不満 ・大変不満

③ ①で「あまり読まない」「読んだことがない」と答えた方は、その理由をお聞かせください。

・読む時間がない ・必要な情報がない ・内容がつまらない ・他からの情報で十分 ・情報が多すぎる
・その他 ()

④ ②で「大変満足」「満足」と回答された方は、どんなところに満足されていますか?

()

⑤ ②で「不満」「大変不満」と回答された方は、どんなところに不満を感じていますか?

()

⑥ NGPニュースの改善点や要望があればお聞かせください。

()

お名前	会社名	電話番号	年齢	性別
			歳	男・女
住所: 〒				

※ 5 月末日までに Web・FAX にてご回答いただいた方を対象として、抽選致します。

※ 抽選結果につきましては、賞品の発送をもってかえさせていただきます。

※ ご記入いただいた内容は賞品の抽選・通知・発送のほか、今後の本サービスの参考とするためにのみ使用させていただきます。

「逆境を追い風に! NGP 大感謝プレゼントキャンペーン」開催!!

1等賞品は
サマージャンボくじ
1,000枚!

プレゼント内容

1等 「サマージャンボくじ 1,000 枚」または「Amazonギフト券 or JCBギフト券 30万円分」+「豊島オリーブオイル 50ml (1本)」..... 1名様
 2等 「サマージャンボくじ 100 枚」または「Amazonギフト券 or JCBギフト券 3万円分」+「豊島オリーブオイル 50ml (1本)」..... 5名様
 3等 「サマージャンボくじ 10 枚」または「Amazonギフト券 or JCBギフト券 3千円分 or 豊島オリーブオイルセット 3千円分」..... 994名様

6月30日まで、宝くじなどの賞品が抽選で当たる「逆境を追い風に! NGP大感謝プレゼントキャンペーン」を開催中です。

NGPリサイクル部に貼付されるガランティシールを3枚集めてご応募いただいた方の中から、抽選で1,000名の方に宝くじなどの賞品をプレゼント致します。

応募用紙は各NGP組合員より皆様に配布するほか、当組合Webサイト (<https://www.ngp.gr.jp/campaign/>) からダウンロードすることも可能です。

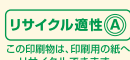
お一人様何口でもご応募いただけます。皆様からのご応募を心よりお待ちしております。



NGP日本自動車リサイクル事業協同組合事務局

〒108-0074 東京都港区高輪3丁目25番33号 長田ビル2F
TEL:03-5475-1208 FAX:03-5475-1209
<https://www.ngp.gr.jp/>

株式会社NGP

〒108-0074 東京都港区高輪3丁目25番33号 長田ビル2F
TEL:03-5475-1200 FAX:03-5475-1201
<https://www.ngp.co.jp/>FSC® 森林認証紙、ノン VOC インキ (石油系溶剤 0%) など印刷資材と製造工程が環境に配慮されたグリーンプリンティング認定工場にて、印刷事業において発生する CO₂ 全てをカーボンオフセット (相殺) した「CO₂ ゼロ印刷」で印刷しています。